



天皇皇后両陛下が中野市を ご訪問になりました

第67回全国植樹祭の式典ご臨席などのため、天皇皇后両陛下が、6月4日から6日まで長野県をご訪問になりました。4日には、地方事情ご視察の一環として、本市の高野辰之記念館をご視察になりました。

両陛下が中野市をご訪問になるのは初めてで、沿道や高野辰之記念館前に詰め掛けた大勢の皆さんが、日の丸の小旗を振りながらお出迎えしました。両陛下は、スピードを落とした御料車から笑顔で手を振られ、集まった皆さんの歓声にお応えになりました。

高野辰之記念館では、唱歌「故郷」を作詞した本市出身の高野辰之博士が編さんに携わった唱歌の教科書に両陛下は仲むつまじく見入られ、昔を懐かしむお姿が見られました。



高野辰之の生涯 と業績を知って いただくことが でき、本当によ かった



高野辰之記念館
寺島正友 館長

国文学者だった辰之の業績を天皇皇后両陛下にご説明させていただきました。

両陛下は、読本や唱歌の教科書をご覧になり、辰之が作詞した「春の小川」の歌詞が小学生当時に文語の「さらさら流る」から口語の「さらさら行くよ」に変わったことを懐かしんで話していらっしゃいました。

また、1928（昭和3）年に辰之が昭和天皇と香淳皇后に日本歌謡の変遷について説明する「御進講」をした日が、今回と同じ6月4日であったことを申し上げると、両陛下は大変感動されたようで、ほほ笑みながら資料に見入っていらっしゃいました。

短時間のご訪問でしたが、両陛下に高野辰之の生涯と業績を知っていただくことができ、本当によかったと思います。

今回の両陛下の行幸啓をきっかけに、さらに多くの皆さんにあらためて辰之の業績について知っていただくことができれば幸いです。



1



6



4



5

1_集まった皆さんの歓声に笑顔で応えられる両陛下 2_御料車から手を振られる天皇陛下と、ほほ笑まれる皇后さま 3_御料車で到着された両陛下をお出迎えする大勢の皆さん 4_高野辰之記念館の常設展をご覧になる両陛下（写真提供：長野県） 5_高野辰之記念館のご視察を終え、お見送りする大勢の皆さんに笑顔で応えられる両陛下 6_高野辰之記念館前に詰め掛けた大勢の皆さん